
シンポジウム

シンポジウム1 (I-SY01)

HLHSに対する外科的治療戦略 より良い遠隔成績を目指した戦略

座長:村山 弘臣 (あいち小児保健医療総合センター 小児心臓病センター 心臓血管外科), 座長:小谷 恭弘 (岡山大学心臓血管外科)

Thu. Jul 6, 2023 9:00 AM - 10:30 AM 第3会場 (G304)

[I-SY01-03]当院における HLHSの治療戦略；両側 PAB後の RV-PA shunt
と肺動脈の発育の視点から

○大河 秀行¹, 櫻井 一^{1,2}, 野中 利通¹, 大沢 拓哉¹, 山本 隆平¹, 石田 真一¹, 加藤 葵¹, 前野 元樹¹, 大橋 直樹³, 西川 浩³, 吉田 修一朗³ (1.JCHO中京病院 心臓血管外科, 2.名古屋大学心臓外科, 3.JCHO中京病院 小児循環器科)

Keywords: HLHS, RV-PA shunt, PA development

【目的】近年の HLHSの治療成績の向上は目覚しいものがあり、これは術式と時期を含めた治療戦略が大きく寄与している。当院では、 primary Norwood (NWD) から両側 PAB (B-PAB) を挟んだ NWD + BDGへ、そして

rapid 2 stage NWDへと変遷してきた。また、 NWD時の shuntも、 Blalock-Taussig shunt (BTS) から RV-PA shuntへと基本術式を変更し、術後管理も肺血管は low resistanceかつ low flowとなるよう留意している。その

ような工夫により NWDの入院死亡10%未満、 Fontan到達率も70%程度へと成績も改善した。一方で、長期的には

肺動脈の発育は重要で、 RV-PA shuntのデザインとの関連を本研究では後方視的に検討した。【対象と方

法】2015年1月から2022年12月までに、 rapid 2 stage NWDを施行し BDGに到達した連続24例のうち、カ

テーテル検査なしで BDGを施行した1例、 RV-PA shuntを右側に回した2例を除外し21例を対象とした。2017年

までは Distaflo (D群8例) を、 2018年以降は Gore-Tex graft (G群13例) を利用している。 RV-PA shuntの

中枢側は全て Dunk法、遠位側は Distafloは originalの形状を利用して、 Gore-Tex graftは帽子のつば状もしく

はラッパ状に cuffを作成して吻合している。【結果】両群間に BDG前の PAI、 NWD後の PAへの介入の有無に

有意差は認めなかった。 RV-PA shuntと左右 PAとの角度と PAへの介入の有無にも関連は見出せなかった。全体

の PAIも 114.9 ± 30.5 と低かった。【結論】肺動脈の発育は両群とも細めで、 low flowの術後管理の影響が大き

いことが示唆された。安全性との trade offではあるが、 BDG前に RV-PA shuntの clipを弱める等の処置の対策

も考えても良いかもしれない。